“Juntos!! 中南米対日理解促進交流プログラム”

派遣プログラム　ブラジルグループ

（対象国：ブラジル　／テーマ：在日日系社会支援事業）

１．プログラム概要

外務省が推進する「Juntos!!中南米対日理解促進交流プログラム」の一環として、日本にて在日ブラジル人との交流などの活動を行う学生等計 8 名が平成 30 年 2 月 17 日から 2 月 26 日までの期間にてブラジルに派遣され、現地の日系人やブラジルに関する包括的理解を促進し、また、関連団体との意見交換の機会を設けるなど、今後の日本での活動につながるプログラムを実施しました。

滞在中、参加者はサンパウロ等で社会奉仕活動に従事する若者日系人グループとの意見交換をはじめ、日系関連団体への表敬訪問や交流などを通じて、派遣国について理解を深めると共に、現地 NPO 法人等とのネットワークを構築すべく積極的にプログラムに取り組みました。

※「Juntos!!中南米対日理解促進交流プログラム」の目的とは

●Juntos!!中南米対日理解促進プログラムは、外務省が平成２７年度より中南米各国を対象として実施している事業で、中南米における対日理解の増進を図り、深い相互理解に立脚した日・中南米関係を一層発展することをその目的としています。本事業は、日本との関係強化に貢献されることを期待される中南米の方々を日本に招待する「招へい事業」と、年ごとにテーマを絞り、同分野の関係者を中南米各国に派遣する「派遣事業」の２本柱にて実施しています。

●中南米における対日理解の増進を図り、深い相互理解に立脚した日・中南米関係の発展を進める。

【参加人数】8 名

【訪問地】

ブラジル連邦共和国（サンパウロ、マリリア、リンス、カフェランジア、アラサツーバ）

２．日程

2 月 17 日（土）	出発前オリエンテーション 成田空港より出国 （ニューヨーク経由）
2 月 18 日（日）	ブラジル　サンパウロ到着 愛知県人会　訪問
2 月 19 日（月）	総領事館　表敬訪問 開拓先没者慰霊碑　参拝 日本館　視察 中川響子氏事務所（カエルプロジェクト）　訪問 ※カエルプロジェクト：訪日就労者子弟のブラジル帰国後の社会適応を支援する活動 移民史料館　視察 ブラジル日本文化福祉協会　訪問 サンパウロ人文科学研究所　視察 国外就労者情報援護センター（CIATE）　訪問
2 月 20 日（火）	～移動～　サンパウロからマリリアへ マリリア　ブラジル日本文化福祉協会　訪問 マリリア　日伯文化協会カンペストレ支部　訪問 ～移動～　マリリアからリンスへ
2 月 21 日（水）	～移動～　リンスからカフェランジアへ 平野植民地の会館　訪問 平野植民地の墓　参拝 平野植民地の慰霊碑　参拝 光明寺　訪問 クリスト・レイ教会　訪問 上塚周平の墓、上塚周平記念広場　訪問 アラサツーバ　ブラジル日本文化福祉協会　訪問 ～移動～　アラサツーバからサンパウロへ
2 月 22 日（木）	大志万学園　訪問 ニッケイ新聞　訪問 サンパウロ新聞　訪問 リベルダージ地区　視察
2 月 23 日（金）	サントス日本人会館　訪問 厚生ホーム　視察 上陸記念碑　訪問 トミエ・オオタケ　モニュメント
2 月 24 日（土）	サンパウロ市内　視察 カエルプロジェクト　ワークショップ　視察 ジャパンハウス　視察 移民博物館　視察 サンパウロ空港より帰国
2 月 25 日（日）	（ヒューストン経由） 成田空港　帰着

３．プログラム記念写真

<table>
<tr><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>2 月 18 日
サンパウロ　愛知県人会</td><td>2 月 18 日
リベルダージ視察</td></tr>
<tr><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>2 月 19 日
日本館</td><td>2 月 19 日
中川響子氏事務所（カエルプロジェクト）</td></tr>
<tr><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>2 月 19 日
移民史料館</td><td>2 月 19 日
サンパウロ人文科学研究所</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>2 月 19 日
国外就労者情報援護センター（CIATE）</td><td>2 月 20 日
マリリア　ブラジル日本文化福祉協会</td></tr>
<tr><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>2 月 20 日
マリリア　ブラジル日本文化福祉協会
カンペストレ支部</td><td>2 月 21 日
カフェランジア　平野植民地の会館</td></tr>
<tr><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>2 月 21 日
平野植民地の墓</td><td>2 月 21 日
平野植民地の慰霊碑</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>2 月 21 日
光明寺</td><td>2 月 21 日
クリスト・レイ教会</td></tr>
<tr><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>2 月 21 日
上塚周平記念広場</td><td>2 月 22 日
サンパウロ　大志万学園</td></tr>
<tr><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>2 月 22 日
ニッケイ新聞</td><td>2 月 22 日
サンパウロ新聞</td></tr>
</table>

2 月 23 日
サントス日本人会館

2 月 23 日
厚生ホーム

2 月 24 日
カエルプロジェクト　ワークショップ

2 月 24 日
ジャパンハウス　サンパウロ

2 月 24 日
移民博物館

４．参加者の感想

◆ 自分では会えないような立場の方々（領事館の方、コミュニティーのリーダーの方など）から広い視野のお話を聞くことができて、日系社会に対する認識を改めることができた。また、デカセギを経験した子ども達や、大人との交流を通じて今後の活動へのヒントをもらえた。

◆ 現実に現地の人のお話を伺うのは自分の持っている知識だけでは実感のつかめない現状を知る上で非常に有意義だった。特に日系団体は日本からの訪問をとても喜んでくれてこちらも嬉しくなった。

◆ 短い時間でも、実際に日系社会のみなさんと直接交流をできたことが良かった。また、カエルプロジェクトが見られたのがとても良かった。

５．参加者の対外発信　＜Facebook＞

日本移民開拓戦没者慰霊碑団参の様子

プログラム参加報告に関する投稿

マリリア日本文化福祉協会での交流の様子

サンパウロ人文科学研究所訪問の様子

６．その他の発信

ニッケイ新聞による取材記事

サンパウロ新聞による取材記事

７．報告会での帰国後のアクションプラン

＜参加者全体によるアクションプラン＞
・ 帰国報告会の実施

＜各参加者によるアクションプラン＞
・ 一般財団法人日伯経済文化協会にて在日ブラジル人子弟の学習支援に引き続き参加する。大学卒業後は社会人として、運営側のサポートに入る。Juntos 派遣で学んだ日系人の現状や「デカセギ」についての認識を元に、保護者の方と子ども達の具体的なサポートについて話をするようにしたいと思う。今後は地域のコミュティーや学校と弊団体の活動がより密接につながるようにそれぞれとの対話をしていきたい。

・ 所属するボランティア団体（日伯経済文化協会）において、帰国報告を行う。

・ 帰国報告会に参加し自身のネットワークも広げる。プログラム等を通して知った活動や、人とのつながりを大切に、今後の自身の卒業論文や、ボランティア活動にも活かしていきたい。

・ 若い日系世代との繋がりを大切に、自身の行う日伯学生会議の情報共有や、議題の相談なども行なっていきたい。